



平成18年9月28日

各位

会社名 株式会社東京機械製作所
代表者名 代表取締役社長 芝 則之
(コード番号：6335 東証・大証第1部)
問合せ先 取締役経理部長 皆川 清澄
(TEL 03-3451-8141)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成18年5月19日の決算発表時に公表した平成19年3月期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)の中間業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成19年3月期中間業績予想数値の修正(平成18年4月1日～平成18年9月30日)
(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	12,000	△700	△400
今回修正予想(B)	11,100	△1,700	△100
増減額(B-A)	△900	△1,000	300
増減率(%)	△7.5	—	—
(ご参考) 前期実績(平成18年3月期中間)	12,426	△2,732	△2,770

2. 平成19年3月期中間連結業績予想数値の修正(平成18年4月1日～平成18年9月30日)
(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	16,000	△1,000	△800
今回修正予想(B)	15,700	△1,700	△100
増減額(B-A)	△300	△700	700
増減率(%)	△1.9	—	—
(ご参考) 前期実績(平成18年3月期中間)	11,067	△2,934	△2,949

3. 修正の理由

新聞印刷用並びに商業印刷用オフセット輪転機の納期の関係で売上高計上が10月以降にずれ込んだ分だけ中間期の売上高が予想を下まわる見込です。

損益面では、原材料、購入部品等の価格上昇分を製品価格に転嫁できず製品原価を押し上げ、また、販管費等固定費が経常利益を圧迫し、損失予想が拡大しました。

米国でのダンピング訴訟の賠償金約44億円の支払いにより、特別損失を計上することとなりましたので、この損失を補填するために固定資産の売却を行ない約50億円と工場前道路拡幅による収用約8億円の特別利益を計上し、当期（中間）損失を縮小しました。

4. 通期の業績予想について

現在集計中であり、中間決算発表の際にお知らせいたします。

以 上